No ０６　苦手克服のために

義髙　亙

　今まで学習において子どもが得意な分野を生かし、苦手分野を克服する、ということを考えてきました。苦手な教科をどう克服していくか？解決すべき課題でした。

　食べ物の好き嫌いに直して例を挙げます。皆さん食べられないものありますか？

皆さんは嫌いなものだけ盛られた皿、どうでしょうか？

　この子はニンジンが嫌いです。

でも家で好き嫌いはいけない、と、ニンジンを二本、皿に盛られて無理やり食べさせられました。

ニンジンがさらに嫌いになり、前より嫌いになりました。でも、その後工夫してニンジンを少量細切れにして、好きな物と一緒に食べるようにしたら　少し食べられました。

この考え方で

、①嫌いな教科だけ、②教科均等に、③好きな教科に課題の教科を少し混ぜてという

「混ぜこみ学習」をしました。どうなったでしょうか？意欲を調査した結果を見てみましょう。

①嫌いな教科だけ学習をやれば、意欲は低いです。その後のだんだん意欲は落ちていきます。

②のように各教科を均等にやれば、嫌いな教科だけより意欲は高いです。

③混ぜこみ学習で好きな活動に苦手な活動を少々入れれば、前の二つより意欲的に高く持続します。

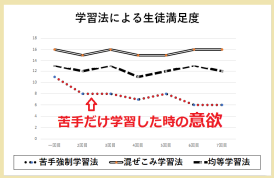
意欲はこうなりましたが、成果はどうなったでしょうか。

　意欲と連動して効果が出ています。

混ぜ込み学習では苦手教科の学習時間が他の教科より短かったにもかかわらず、苦手教科の効果が出ています。

逆に苦手教科を集中して、それだけやらせても効果は上がっていません。でも人はそれぞれです。このグラフの線は平均です。実は一人ひとり　成果に違いがあります。嫌いな教科だけ行った場合も、生徒

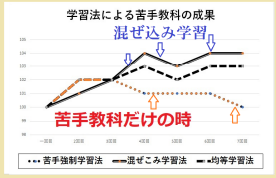
苦手克服のために



・苦手な教科だけ学習

・どの教科も均等に学習

・得意な教科に苦手な教科
　を少し混ぜて学習

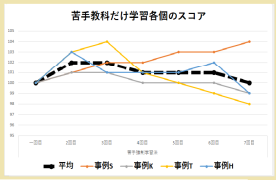


一人一人の成果は違います。

　このグラフは平均で、嫌いな学習だけを行った生徒たちの平均値です。それではこの平均値を一人一人のスコアに直してみます。太い線は平均値です。
無理やりやらせると平均的には効果が落ちます。
でも、一人一人はどうでしょうか？実は嫌いな学習を無理にやらせても効果が出る生徒がいるんです。
このオレンジのラインはまじめに取り組む大人しい女子ですが、この場合、つまり苦手な教科だけやらせた場合でも効果が出たんです。

　この場合を体験すると教師は「やればできる」と思いがちですね。しかし逆効果になってしまった生徒も多かったのも事実です。

　これがすべてに通用するスコアではありません。
あくまで限られた学校、しかもその中で支援が必要だと通級を検討した、わずか４％の生徒の中でも記録が取れた生徒のスコアです。
限られたデータですが、無理に苦手教科だけ学習させた場合に、逆に効果が落ちる生徒がいる、ということは提示できるかと思います。



生徒により違う個性・結果

END